No. 94
平成29年11月1日発行
9月定例会

発行　秋田県鹿角市議会
編集　議会広報委員会
〒018-5292　鹿角市花輪字荒田4番地1
TEL（0186）30-0280
e-mail gikai@city.kazuno.lg.jp
URL http://www.city.kazuno.akita.jp/



かづの市議会だより



9月12日に防災訓練を実施しました（議員控室からの避難訓練・消火訓練・地震による火災予防に関する勉強会）

7月臨時会、8月臨時会、9月定例会の概要・・・・2
一般質問に7名が登壇・・・・・・・・3
委員会審査ズームアップ・・・・・・7
派遣調査報告・・・・・・・・・・・・・・8
議案審議結果一覧・・・・・・・・・・9
議会報告会のお知らせ・・・・・・10

第6回定例会

湯の駅おおゆの指定管理者の指定
福祉プラザ条例の一部改正
などを原案可決

平成29年第6回定例会が9月1日（金）から9月22日（金）までの22日間の日程で行われ、報告2件、議案12件、認定9件が上程され、決算特別委員会で審査する認定8件以外について、原案のとおり可決・認定され、議員提出議案3件についても、原案のとおり可決されました。

第6回定例会に提案されました議案等の審議結果につきましては、9ページに掲載しております。

主な議案の審議内容

指定管理者の指定について（鹿角市歴史民俗資料館）

質問 指定管理者はどのような会社であるのか。またどのような基準で選定したのか。

答弁 指定管理候補者である太平ビルサービス株式会社は主に建物の管理や清掃業務を請け負っており、本市においては自然休養村管理センターの指定管理者でもあります。

当社からは、施設の利用促進のために市民講座の開催や子ども体験学習、親子歴史講座などを開催したいとのことや、商店街との連携も取り組んでいくとのことであったことから指定管理候補者としております。

指定管理者の指定について（湯の駅おおゆ）

質問 経営収支見通し内容はどのようになっているのか。

答弁 施設を管理する上での必要経費は、光熱費等が約830万円、温泉設備の維持管理費が20万円から40万円のほか、ビオトープなどを含む樹木管理費が約1千万円かかるものと予想しておりますが、樹木管理費を除く経費については、自らの収入をもって経営に反映させることで協議しております。

「決算特別委員会」を設置し、決算を審査

定例会最終日の9月22日に、当局より追加提案されました平成28年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定案件8件について、決算特別委員会を設置し、議会閉会中に審査しております。

審査内容の詳細につきましては、次号（2月1日発行予定）でお知らせいたします。

◇決算特別委員会（9名）

◎委員長　児玉　悦朗
○副委員長　栗山　尚記
▽委　員　兎澤　祐一
　吉村　アイ
　倉岡　誠
　田中　孝一
　舘花　一仁
　安保誠一郎
　金澤　大輔

議会へ提出された請願・陳情審議結果

平成29年第6回定例会では、請願3件、陳情1件を審議しました。結果は次のとおりです。

請願

《採択》

◆鹿角市版「働き方改革」の実現について

◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての請願

◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書提出についての請願

陳情

《採択》

◆全国森林環境税の創設に関する意見書提出を求める陳情

議会から関係機関への意見書

9月22日の本会議において、議員より提出された意見書3件について、原案可決し、関係機関へ提出しております。

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書

◆「全国森林環境税」の創設に関する意見書

第4回臨時会

平成29年第4回臨時会が7月21日（金）に開催されました。

臨時会では、市長より副市長の選任及び農業委員会委員の任命の人事案件のほか、補正予算案1件が上程され、原案のとおり同意・可決されました。

第4回臨時会に提案されました議案の審議結果につきましては、9ページに掲載しております。

今臨時会において、同意された人事案件は、次のとおりです。

○副市長

阿部　一弘　氏（再任）

○農業委員会委員

田口　元　氏
小笠原正光　氏
松田　誠子　氏
安保　春喜　氏
山崎　純二　氏
柳澤　照雄　氏
阿部　聖　氏
中村　和廣　氏
高谷　秀和　氏
福島美紀子　氏
兎澤　悦雄　氏
内田　正栄　氏
成田　彩子　氏

第5回臨時会

平成29年第5回臨時会が8月10日（木）に開催されました。

臨時会では、市長より補正予算案2件が上程され、原案のとおり可決されました。

第5回臨時会に提案されました議案の審議結果につきましては、9ページに掲載しております。

主な議案の審議内容

一般会計補正予算（第4号）

質問 学校給食センターの建設に関連して現在の納入業者については、建設後も従来どおり取引することができるか。

答弁 現在、30数社の納入業者と取引しておりますが、先般、打ち合わせ等会議を実施し、新しい施設になっても、取引する意思がある業者は継続して取引していただくことになると考えております。

主な議案の審議内容

一般会計補正予算（第5号）

質問 災害対策事業の宅地等防災対策工事費助成金の内容について伺う。

答弁 本助成金は、この度の大雨で被災した宅地の復旧を支援するものであり、復旧に10万円以上の経費がかかるものが対象となります。補助上限額は30万円、補助率は3分の2であり、臨時広報において、周知しているところで、現在8件ほどの被害を確認しております。

議会の映像をぜひご覧ください

議会だよりには、会議の一部を掲載しております。本会議の模様は、インターネットからライブ中継や録画中継を視聴することができます。

また、各庁舎市民ロビーのテレビでも本会議を視聴することができます。

児玉　政明　議員
（鹿真会・公明）



質問した項目
■市長の市政運営について■危機管理、災害対策について■公共施設の有効利用とネーミングライツについて■スポーツツーリズムの推進について■スポーツ合宿補助事業について■全国規模のスキー大会に向けた準備について■東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンについて

市長の市政運営について

問 市民から、移住者から、企業から選ばれるまちを目指す取り組みについて伺う。

答 市民にとってはいつまでも住み続けたいと思うまち、移住者にとっては住んでみたいと思うまち、企業にとってはここで事業活動を行いたいと思うまちにしたいという想いを込めたものであり、後期基本計画に掲げる各施策により、その具体化を進めているものであります。

公共施設の有効利用とネーミングライツ（命名権）について

問 スポーツ施設を初めとする公共施設に、ネーミングライツを導入することはできないか伺う。

答 第9次行革大綱の取り組み項目に掲げ導入を検討しているところであり、全国規模のスキー大会開催などでメディアへの露出機会が多い花輪スキー場周辺施設を中心に検討しておりますが、ネーミングライツ制度は民間活力によるPRが期待できる一方で、当該企業等に対するイメージや経済情勢の影響を受けやすく短期間で呼称が変わるデメリットも考慮しながら、検討を重ねているところであります。

東京オリンピック・パラリンピックホストタウンについて

問 ホストタウン登録によるハンガリー国との交流計画と内容を伺う。

答 スポーツ交流では、来年はショプロン市を訪問する年となりますので、鹿角市の青少年チームを派遣する一方、オリンピックのある2012年にはショプロン市から青少年チームを迎え、交流試合などを行う予定としております。

文化面での交流では、ハンガリー人の国際交流員を配置し、ハンガリーの言語や文化に市民が直に触れられる語学講座や料理教室などを計画しております。

ナショナルチームとの交流では、ハンガリー国のバスケットボール競技団体と今後の事前合宿について協議を進めるとともに、オリンピック出場の際にはパブリックビューイングや市民の応援ツアーなどを計画しております。

一般質問　田中孝一議員（清風会）

人口減少問題について

問　**本市の地域特性を生かした行政運営について、何を重点的にしていくのか伺う。**

答　これまでの子育て支援の優位性に加え、働く場の確保による若い世代の定着や移住策など、総合戦略の施策を着実に推進していくことが、自然減の抑制や社会増に結びつくものと確信しておりますので、特徴を生かした地域活性化策を展開し、暮らし続けたいと思う元気なまちづくりを進めてまいります。

少子化対策について

問　**出会い応援事業での参加者の反応はどうか。さらに支援拡大する必要があると思うがどうか。**

答　市の啓発講座の参加者からは「結婚について改めて考える機会になった」「明るい気持ちになれた」などの前向きな意見が聞かれ、意識の啓発や積極性の向上につながっているものと捉えております。

　昨年度、首都圏在住の独身女性を招いて開催した「癒しと出会いの旅」では、参加者から、日程を延ばして欲しいとの意見から、今年度は日程を1日延ばし、体験メニューもより充実させ実施いたします。

　婚活や結婚に対する各種取り組みが意識の醸成に効果を発揮しておりますので、参加者の意見を取り入れつつ事業を展開し、必要に応じて支援の拡充や見直しを検討してまいります。

健康いきいき長寿社会の実現について

問　**豊かなシニア社会の実現対策をどのようにしていくのか伺う。**

答　市内20カ所ある「地域生き活きサロン」では食事会等で地域住民が気軽に集える身近な場所となっているほか、老人クラブでは学習活動や健康づくりのほか、高齢者宅への訪問等も行われております。

　また、介護施設においては、高齢者が施設利用者の話し相手を行うなど、活動に広がりが見られます。

　生きがいを持って健康に活動できる高齢者が増えるよう、生き活き元気塾等を通じ、地域とのかかわりと健康寿命に対する意識の醸成を図ってまいります。

質問した項目

■国立公園満喫プロジェクト事業について■世界遺産登録に伴う観光受け入れ体制の整備について■人口減少問題について■少子化対策について■空き家対策について■健康いきいき長寿社会の実現について■民間住宅リフォーム支援事業について■生活困窮者自立支援について■集落支援活動事業について



田中　孝一　議員

（清風会）

一般質問　安保誠一郎議員（無会派）



安保　誠一郎　議員

（無会派）

質問した項目

■花輪ばやしについて
■児玉市政４期目の市政運営について
■コンパクトシティについて

花輪ばやしについて

問　**今年の花輪ばやしはユネスコ登録後最初の開催とあって、過去最多の26万人を記録した。このことから将来に対する期待が高まっているが、今後の支援対策を伺う。**

答　保存伝承に関して、昨年度から国、県と連携し、10町内が計画的に実施する屋台の修復事業を支援しております。

　今後においても、観光振興と伝統文化保存の両面で、花輪ばやし祭典委員会の主体性を尊重しながら、市としても積極的な支援を行い、引き続き花輪ばやしの知名度の向上と誘客拡大に努めてまいります。

問　**２０２０年の東京オリンピックの開会式において、花輪ばやしを含むユネスコ無形文化遺産を世界にアピールする考えはないか伺う。**

答　今年5月に開催された全国山・鉾・屋台保全連合会の総会の中で、連合会の役員から、「東京オリンピック開会式への出演について、今後、連合会として検討していく」との発言がなされております。

　具体的な内容については、現時点では示されておりませんが、連合会の中で統一的な行動が展開されるものと考えておりますので、今後、示される内容を見ながら対応を検討してまいります。

コンパクトシティについて

問　**鹿角市としては結婚出産を促す「自然増」と移住定住を促す「社会増」とでは、どちらに重きを置いて施策を推進していくのか伺う。**

答　出生数の増加を図ることに加え、若年者の転出を抑制することと、一旦転出しても親世代になる頃に戻って来てもらえることが効果的であると分析しております。

　こうした分析を基に後期基本計画では、自然増に向けた対策として「子どもの笑顔きらめきプロジェクト」とともに、転出抑制に向けた「産業力強化」、転入につながる「移住促進」の２つの重点プロジェクトを上位に据え、社会増に向けた対策を戦略的に進めているところであります。

一般質問　金澤大輔議員（鹿真会・公明）

金澤　大輔　議員
（鹿真会・公明）



質問した項目
■シティプロモーションについて■キャリア教育について■移住について■少子化と婚活について■広報について■ヘルプカード普及促進について

シティプロモーションについて

問　本市のPR・誘客手段として、音楽フェスの誘致に取り組む考えはないか伺う。

答　先日由利本荘市で行われた、ミュージシャンの高橋優氏が企画した音楽フェスでは2日間で1万6千人が来場したとの報道がなされており、さらに、高橋氏が由利本荘市の名所や特産物を紹介したパンフレットが発行されるなど、その宣伝効果は非常に大きいと捉えております。

音楽イベントは広く本市の魅力や情報発信ができる機会でもありますので、会場の提供や地域住民との調整など、行政が担える部分での協力をしながら、市民団体等が取り組む新たな観光資源づくりにつながる活動を応援してまいります。

広報について

問　今以上に市民から関心が寄せられる手法で行政情報等を発信できないか伺う。

答　平成27年度に実施した市民アンケートでは、広報が読まれている割合は全体の84％であり、情報が探しやすいレイアウトであるとの評価もいただいたことから、行政情報発信媒体としての役割は果たせているものと認識しておりますが、30歳未満の方の割合は56％にとどまっていることから、若年層へのアプローチが課題であると捉えておりますので、今後も多様な媒体を活用しながら、市政に関心を持ってもらえるような手法を工夫し、わかりやすく、伝わりやすい行政情報の発信に努めてまいります。

ヘルプカード普及促進について

問　ヘルプカードの導入を積極的に検討できないか伺う。

答　ヘルプカードは、障がいのある方や外見からは援助や配慮が必要なことが分からない方でも、配慮を必要としていることを周囲の方に知らせるものですが、今年度、県がヘルプマーク・ヘルプカードの県内統一規格を設け普及推進を図ることとしており、障がいのある方への理解や認識が広く深まることが期待されるため、積極的に普及を促進してまいります。

一般質問　成田哲男議員（清風会）

成田　哲男　議員
（清風会）



質問した項目
■テレフォン病院24事業について■地域コミュニティの維持と活性化について■地域公共交通の確保について■有害鳥獣対策について■城山野球場の整備について■上水道の安定供給について■かづの観光物産公社の地域DMOについて■学校教育の充実について

テレフォン病院24事業について

問　5月から開始しているが、具体的な体制について伺う。

答　本事業は、小坂町と共同で株式会社法研に委託しており、看護師が24時間年中無休で対応しております。また、状況に応じて、医師・保健師・助産師・ケアマネージャーやカウンセラー等へつなぐ体制が取られております。

地域公共交通の確保について

問　今年度策定予定の公共交通再編実施計画の内容について伺う。

答　今年度は、既存路線の運行の効率化や公共交通に不便を感じている地域の解消のため、地域乗合交通等の導入、乗り継ぎ拠点の設定などの整理検討を進めているところです。

有害鳥獣対策について

問　熊の目撃情報や農作物の被害が多く出ている。人里との緩衝地帯を作ることを試験的に行なえないか伺う。

答　小平自治会において有害鳥獣駆除対策のモデル的な取り組みをしており、勉強会等の開催、民家に隣接する林の刈払い作業を実施したところ、熊の出没数の軽減に一定の効果が現れてきています。今後も自治会や市民向けの説明会を開催し、事前対策の周知を図りながら、補助事業により自衛策を支援し被害防止に努めてまいります。

上水道の安定供給について

問　十和田地区で、流量調整をし節水を求めている原因は何か伺う。

答　夏場の使用水量の増加と区域内の施設で機器の不具合のため井戸水の利用から上水道に切り替えたことなどで使用水量が増加し、配水池への送水が追い付いていないためと考えております。

問　安心できる供給対策について伺う。

答　十和田浄水場から配水池への送水量を増やすため、浄水場に送水ポンプを設置する工事を実施しており、区域内の使用水量の増加に対応できるように対策を進めております。また、市役所周辺地区を花輪浄水場の給水区域に変更する工事を実施し、使用水量を確保してまいります。

人口減少問題について

問　**人口問題のみに特化した専門部署の新設について伺う。**

答　あらゆる分野の総合的な政策について、企画部門が中心となって検証しながら、各種施策を展開しており、その成果を着実にあげております。

　このため、人口減少問題のみに特化した部署の新設は不要と考えております。

コンプライアンスについて

問　**本市のコンプライアンス教育について、研修の受講率を伺う。**

答　昨年8月と今年6月に実施した管理監督職向けの研修受講率は、それぞれ74・1％と93・9％、2月に実施した主査・主任級の研修受講率は76・4％、また、4月に実施した新採用職員研修は対象者全員が受講したほか、6月に実施した臨時・非常勤職員向けの研修の受講率は84・2％となっております。

　なお、今後は、出張等で当日の受講がかなわなかった職員への補完対応も徹底するとともに、コンプライアンスの推進を定着させるため、繰り返し研修を実施してまいりたいと考えております。

内部告発問題について

問　**大湯ストーンサークルの芝刈り作業と樹木薬剤散布費用について、なぜ例年より高い価格で設定したのか。また、入札において、なぜ例年より高い金額で落札されたのか。**

答　芝刈り作業の積算において、作業単価の積算方法や作業回数の反映を誤っていたほか、樹木の薬剤散布作業の積算でも、散布量の計算等を誤るなどしていたものです。

　その理由は、前年の設計に用いられていた数値を、根拠を確かめないまま踏襲して使用し、仕様が異なる内容にもそのまま用いていたためで、本質的には、こうした設計積算の基本的ルールや留意事項を、しっかり共有できていなかったことが原因でありますが、いずれにしましても、本件入札は、指名競争により適正に行われており、落札金額も適切な入札が行われた結果と受け止めております。

質問した項目
■人口減少問題について ■コンプライアンスについて ■内部告発問題について ■大湯環状列石の世界遺産登録推進について



戸田　芳孝　議員
（無会派）

兎澤　祐一　議員
（鹿真会・公明）



質問した項目
■災害対策について ■高齢者の安心を築く対策について ■認知症対策について ■健康ポイント制度について ■要保護、準要保護児童生徒の援助について ■教員の過酷勤務の改善について ■児童虐待について

災害対策について

問　**災害発生後の対応についてはきめ細かく準備しているが、事前防災行動計画（タイムライン防災）を取り入れて、事前の防災行動や被害の最小化を実現していくことが大切と考えるがいかがか。**

答　タイムラインは、災害の発生を前提に、関係機関が連携して災害時に発生する状況をあらかじめ想定した上で、「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、防災行動などを時系列で整理した計画ですが、先を見越した早めの行動が可能になるため、水害や雪害などの進行型災害の対応に有効です。

　米代川の上流部については、昨年開催した「米代川大規模氾濫減災対策協議会」において、本市と県が共同で「鹿角市版タイムライン」を作成しておりますので、氾濫時における有効な判断指標として、本市水害計画や職員初動体制マニュアルなどと共に活用してまいります。

高齢者の安心を築く対策について

問　**高齢者と障がい者が同一事業所でサービスを受けやすくするための「共生型サービス」について、今後の対応を伺う。**

答　地域包括ケアシステム強化法により、介護保険法及び障害者総合支援法が改正され、平成30年度から高齢者と障がい者等が同一事業所で通所サービスを受ける事ができる「共生型サービス」が創設されます。現在は、障がい福祉サービスを受けている方が65歳になると、介護保険法が優先され、介護保険の事業所に移る必要がありますが、今回の制度改正により、介護事業の認定を受けた障がい福祉サービス事業所の場合、継続してサービスを受けることが可能となり、また、同様に介護サービスを行う事業所でも障がい福祉サービスを継続することが可能となります。

　これらは、国が提唱する地域共生社会を実現するための足掛かりとなり、福祉人材やサービスの有効活用にもつながることから、市としても各事業所に制度の活用を促してまいります。

総務財政

◇平成29年度一般会計補正予算（第6号）中、歳入の「交流推進寄附金」について、葛飾区立よつぎ小学校ＰＴＡの有志からの寄附とのことだが、今回初めてのことか、または以前からあったものかただしております。

これに対し、現金の寄附については今回が初めてであるとの答弁がなされております。

次に、「かづのシティプロモーション認定事業補助金」に関連して、地域開発映画プロジェクト実行委員会の構成員についてただしております。

これに対し、本市の他、構成団体としてロケーションかづの、ホテルガーデンかわむら、かづの商工会、かづの観光物産公社、十和田八幡平観光物産協会、かづのコミュニティＦＭ、みんなで文化交流の杜をつくる会、ふとっぱらバンビーヌの8団体のほか、個人もメンバーに入っており、さらに引き続き実行委員会に加入する方を随時募集しているとの答弁がなされております。

次に、「地域情報化推進対策費」における光ファイバーケーブル移設工事負担金に関連して、市内の光ファイバーによるインターネットサービスの現在の利用可能エリアについてただしております。

これに対し、現在光インターネットサービスが利用できないエリアは、十和田山根や十和田南駅周辺などの十和田地区の一部と草木地区や大湯地区の一部となっている。

十和田地区については、今年度の光通信網整備支援事業により利用が可能になるが、草木地区や大湯地区の一部の整備は、今年度の十和田地区の加入状況をみながら、来年度以降の事業化を判断することとなるとの答弁がなされております。

教育民生

◇「工事請負契約の締結について（（新）鹿角市学校給食センター建設工事（厨房設備工事））」について、条件付き一般競争入札としている理由についてただしております。

これに対し、厨房設備工事は専門性が求められる工事であり、過去の厨房施設の施工請負実績を有すること、また、一級厨房設備施工技能士を有することなどの条件を付した上で、広く全国から業者を募るため一般競争入札としたものであるとの答弁がなされております。

◇「指定管理者の指定について（鹿角市歴史民俗資料館）」について、館の管理・運営に際し、職員の雇用についてただしております。

これに対し、事業計画では職員3名を雇用し、常時2名体制でもって管理・運営を行うこととし、職員の雇用についてはハローワークを通じて広く募集し、地元雇用を行いたいとの提案がされているとの答弁がなされております。

◇「鹿角市福祉プラザ条例の一部改正について」、改正案において、高齢者センターが実施する「高齢者支援事業」の項目を整理しているが、その内容についてただしております。

これに対し、運動やレクリエーション、用具を使用した筋力向上トレーニングなどを「介護予防の推進に関する事業」に、生き活き学級の開催や調理実習、視察研修などを「生きがいづくりに関する事業」に、高齢者の方の日常生活に関するさまざまな相談、見守り、また、地域包括支援センターとの連絡調整などを「日常生活等の相談支援に関する事業」として整理したものであるとの答弁がなされております。

産業建設

◇「平成28年度鹿角市上水道事業剰余金処分について」、関連して、今般の給水制限の問題について、昨年の段階で予見できたと思われるので、もっと早く対処していれば、このような状況にならなかったのではないかと感じるが、これまでの一連の流れについて、どう考えているのかただしております。

これに対し、昨年度においても配水池の流量が不足したことから、一時断水し、流量調整も行ったため、今年度予算に送水ポンプの改修工事を計上し、夏までに完成する予定であったが、設計の見直しにより、発注が遅れてしまったことから間に合わなかったもので、今後は支障が出ないよう配水計画を立てながら対応してまいりたいとの答弁がなされております。

◇平成29年度一般会計補正予算（第6号）中、「ミドル就農者経営確立支援資金」について、今までの新規就農者支援は45歳未満が対象であったが、これを60歳まで拡大するとした理由についてただしております。

これに対し、これまで45歳未満の新規就農者は、国の農業次世代人材投資事業で支援しており、本市でも現在18組20名が支援対象となっている。しかしながら、今後の農業人口、基幹的農業従事者の人数は減少すると見込まれ、いわゆる団塊の世代の方々の引退が見えてきている状況にある中で、基幹的農業従事者が急激に減っていく可能性が高い。

また、45歳から60歳までの世代割合が少ないことから、県として、その年代の新規就農者も増やしていきたい思いもあり、本制度を立ち上げたと伺っているとの答弁がなされております。

常任委員会派遣調査報告

総務財政常任委員会
（徳島県上勝町・兵庫県神戸市）

○上勝町では「彩（いろどり）事業」について調査しました。

日本料理などに添えられる「つまもの」の葉っぱや花などを商品化した事業で、昭和62年から約30年以上続いています。

現在、参加する農家の方は平均年齢約70歳とのことですが、注文を受けたり、発注状況を見るためのパソコンやタブレット端末を使いこなして仕事をしています。実際に農家の方からお話を伺いましたが、最初は半信半疑で試しに1つ商品を出してみたら、思った以上に高く売れることが分かった。また、何度か出してみたが、売るものが葉っぱなので、品物が軽く、出荷が苦にならないのがいいと話されていました。



また、この彩事業の視察のために、全国から多くの人が訪れることを生かし、移住定住につなげる事業なども行っていて、7年間で45人の移住・就業につながったとのことでした。

他にはない魅力を生かして、集客や移住につなげるなど、本市でも参考にできるのではと感じました。

○神戸市では「人と防災未来センター」について調査しました。

阪神大震災の経験と教訓、防災・減災の大切さを伝える本施設では震災当時の記録映像が見られたり、震災が体感でき、また、防災・減災につなげるための研究活動や資料収集が行われており、全国から集められた資料が資料室に納められていました。

特に、防災に当たっては、被災時の各人の対応が大切であり、防災教育が重要だということを再認識しました。

（派遣委員）
成田哲男、栗山尚記、
兎澤祐一、安保誠一郎、
金澤大輔

教育民生常任委員会
（奈良県奈良市・京都府京都市・京丹後市）

○奈良市では「安心・安全“なら”見守りネットワーク」について調査しました。

平成27年度から始めた本事業では、認知症等で行方不明になる可能性のある方の情報を事前に市へ登録していただき、所在が分からなくなった際に、市役所から関係機関へメール送信しながら早期発見に役立てる「事前登録制度」を行っており、登録者には市役所の連絡先等のQRコード入りシールが無償配布され、有料でGPS端末の貸出しをしています。また、「協定事業」として、新聞配達業者や配食事業などの民間事業者と協定を結びながら、独居高齢者等の要支援者に異変があった場合に市役所へ連絡してもらう制度も昨年より行っています。



これら官民一体となった取り組みにより、今後の高齢化社会の見守り体制の構築をするとともに、市民が安心して暮らせるまちづくりを行っておりました。

○京丹後市では「公共交通施策の取り組み」について調査しました。

公共交通施策の先進地である京丹後市では、どこまで乗っても上限が200円のバスや電車、公共交通空白地域での「EV乗合タクシー」や、ライドシェア企業Uber日本法人がシステム提供などのアシストを行う「ささえ合い交通」など、その地域ごとで異なる公共交通の状況に応じた様々な施策を積極的に実施しています。

これら取り組みやバス・電車の時刻表を1冊にまとめた、「公共交通ガイドブック」を全戸配布するなど、行政が覚悟をもって公共交通施策に取り組む姿勢が感じられました。

（派遣委員）
浅石昌敏、舘花一仁、
黒澤一夫、田口　裕、
中山一男、戸田芳孝

管内調査

○去る8月22日に産業建設常任委員会において、7月22日からの大雨により被害受けた農地、農業用施設、河川の被害状況を調査しました。

農業施設等の被害については、農地35カ所で土砂流入・畦畔崩落等が発生し、また、末広頭首工をはじめとする農業用施設35カ所が損壊し、合わせて約9千万円の被害となっている。

また、道路等については、道路40カ所で被害額約3千万円、河川では28カ所で約7千万円の被害となっており、被害額の大きい箇所については、国の災害復旧事業に申請し、早期に工事着工を目指していくとの報告を受けております。



【第４回臨時会において審議した議案の審議結果】

件名	審議結果
[市長提出]	
◇副市長の選任について	原案同意
◇農業委員会委員の選任について（13件）	原案同意
◇平成29年度鹿角市一般会計補正予算（第4号）	原案可決

【第５回臨時会において審議した議案の審議結果】

件名	審議結果
[市長提出]	
◇平成29年度鹿角市一般会計補正予算（第5号）	原案可決

【第６回定例会において審議した議案の審議結果】

件名	審議結果
[市長提出]	
◇平成28年度鹿角市健全化判断比率について	報告
◇平成28年度鹿角市資金不足比率について	報告
◇市道路線の変更について	原案可決
◇工事請負契約の締結について（(新)鹿角市学校給食センター建設工事（建築工事））	原案可決
◇工事請負契約の締結について（(新)鹿角市学校給食センター建設工事（機械設備工事））	原案可決
◇工事請負契約の締結について（(新)鹿角市学校給食センター建設工事（厨房設備工事））	原案可決
◇指定管理者の指定について（鹿角市歴史民俗資料館）	原案可決
◇指定管理者の指定について（湯の駅おおゆ）	原案可決
◇鹿角市福祉プラザ条例の一部改正について	原案可決
◇平成28年度鹿角市上水道事業剰余金処分について	原案可決
◇平成29年度鹿角市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
◇平成29年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
◇平成29年度鹿角市上水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
◇平成29年度鹿角市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
◇平成28年度鹿角市上水道事業会計決算認定について	認定
◇平成28年度鹿角市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成28年度鹿角市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成28年度鹿角市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成28年度鹿角市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成28年度鹿角市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成28年度鹿角市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成28年度鹿角市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成28年度鹿角市大湯財産区特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
[議員提出]	
◇地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決
◇教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書の提出について	原案可決
◇「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について	原案可決

産業建設常任委員会（山形県鶴岡市・新庄市・岩手県平泉町）

○鶴岡市では「食文化創造都市の取り組み」について調査しました。

鶴岡市は平成17年の合併により東北最大の面積になり、山から平野、川、海と変化に富んだ地形を有し、年間を通じて多様な食材を楽しむことができる豊かな地域で、四季折々の郷土食や行事食、出羽三山の精進料理といった食文化の特色があります。

鶴岡の食文化を地域振興に生かすため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の「創造都市ネットワーク」食文化分野への加盟を目指し、平成26年12月に日本初の認定となりました。

その影響は、食文化による世界交流のまちづくりへとつながっており、さらに市民とともに地域を挙げて「食の理想郷」を目指しているとのことでした。



○新庄市では「新庄まつり振興事業の取り組み」について調査しました。

新庄まつりは、花輪祭の屋台行事とともにユネスコ無形文化遺産登録となった行事の一つで、8月24日から3日間にわたり、観光客は50万人を超えます。

新庄まつりが百年後も途絶えることなく、ますます盛んになるよう「新庄まつり百年の大計」を策定し、事業を推進しております。

新庄市では環境整備や観光PR、運営経費などを支援しておりますが、少子化や経済低迷も影響し、山車の曳き手不足や製作経費のねん出に苦慮しているため、ユネスコ登録による知名度を生かし、年間を通した観光誘客の増加につなげていきたいとのことでした。

また、新庄まつりの山車などの民俗資料を展示している「新庄ふるさと歴史センター」を視察しました。

（派遣委員）
田中孝一、児玉悦朗、田村富男、吉村アイ、倉岡　誠、児玉政明

議会報告会　～市民と語る会～　を開催します

鹿角市議会では、平成29年度の議会報告会及び市民と語る会を、下記により開催いたします。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

□開催日時・会場

11月 6 日（月）午後 6 時～

会　場	担当班
●八幡平市民センター	第１班
●尾去沢市民センター	第２班

11月 7 日（火）午後 6 時～

会　場	担当班
●花輪市民センター	第１班
●十和田センター	第２班

進め方　・9月定例会及び決算特別委員会の審査等の概要報告
・テーマに基づく市民の皆さんとの意見交換
・そのほかテーマに関わらず、さまざまなご意見等をお伺いします。

市民と語る会テーマ（両日とも）

「鹿角の医療について」

□班編成（班長以下は、議席番号順）

第１班：兎澤祐一（班長）、安保誠一郎、田口　裕、中山一男、栗山尚記、吉村アイ、浅石昌敏、田中孝一

第２班：田村富男（班長）、戸田芳孝、金澤大輔、舘花一仁、児玉悦朗、成田哲男、児玉政明、倉岡　誠、黒澤一夫

※宮野和秀議長は各会場を回ります。



昨年の様子

傍聴席から一言

初めて議会を傍聴してこのように議会を行っているということを知りました。市民がより良い暮らしができるように議論しているということが分かりました。女性議員も活発に発言していて、男性議員がほとんどの中で感心しました。

今日から22日間議会が行われますが、少しでも市民の意見が反映された結果になってほしいと思いました。（21歳女性）

議会を傍聴しませんか

鹿角市議会では、本会議、各常任委員会を誰でも傍聴することができます。

傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所３階の議会事務局までお越しください。

編集後記

私が所属する議会広報委員会では、議会だよりの編集のほかに、議会報告会の企画も担当しております。

一人でも多くの市民の方に興味を持って頂けるために如何に変化すべきか会議の度に頭を悩ましております。

他市の事例を参考にしながら工夫を重ね、いろんな角度から議会に関心を持って頂けるよう、進化を続けて行かなければと思っております。

まずは、一人ひとりの議員がより真剣に市政に対しての活動に取り組み皆様の期待に答えられる政治家になることが、議会だよりの読まれる割合や議会報告会の出席者数の向上に繋がる一番の近道であるように思います。

皆様の率直なご意見もお待ちしておりますので、遠慮なくお寄せ下さい。

（栗山　尚記）